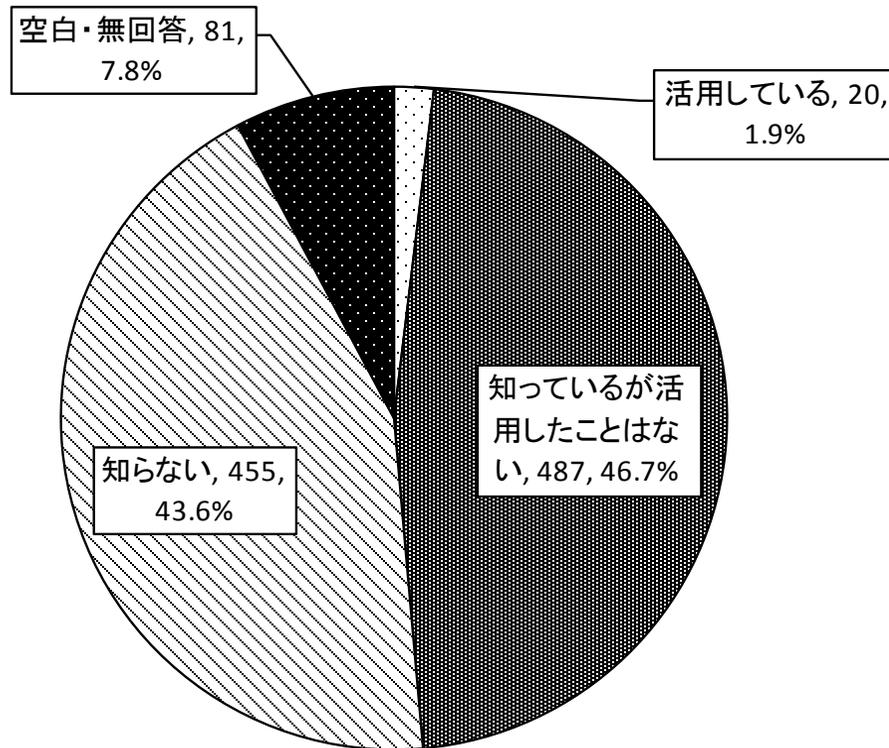


**「市町村における循環型社会づくりに向けた  
一般廃棄物処理システムの指針」  
及び  
「市町村一般廃棄物処理システム評価支援ツール」**

# 「一般廃棄物処理システムの指針」 を知っていますか？

## 処理システムの指針の認知度



# 一般廃棄物処理システムの指針とは？

- 廃棄物処理法の基本方針に規定されるごみ処理に関する役割を果たすため、国が市町村に対して**廃棄物の減量や適正な処理等の円滑な取組みの実施に向けた考え方**を示したもの。

国

- ・ 一般廃棄物の分別収集区分や処理方法等(一般廃棄物処理システム)に関する考え方の提示(市町村等の取組の技術的な支援)

市町村

- ・ 一般廃棄物処理システムに関する検討、取組の実施
- ・ 一般廃棄物処理システムの変更、新規導入に際しての住民や事業者に対する説明責任

住民

- ・ 市町村のごみ処理施策への協力

# 「一般廃棄物処理システムの指針」の内容

---

1. 一般廃棄物の標準的な分別収集区分
2. 一般廃棄物の適正な循環的利用・適正処分の考え方
3. 一般廃棄物処理システムの評価の考え方
4. 循環型社会形成に向けた一般廃棄物処理システム構築のための取組みの考え方

# 一般廃棄物処理システムの評価の考え方(1)

## ① 環境負荷面、経済面などについて、指標を用いて評価

### 循環型社会形成

- ごみ排出量
- 資源回収率
- エネルギー回収量
- 最終処分割合

### 地球温暖化防止

- 温室効果ガス排出量

### 公共サービス

- 住民満足度

### 経済性 (費用対効果)

- ごみ処理費用
- 資源回収に要する費用
- エネルギー回収に要する費用
- 最終処分減量に要する費用

# 一般廃棄物処理システムの評価の考え方(2)

## ② 上記指標を用いた客観的な評価の方法

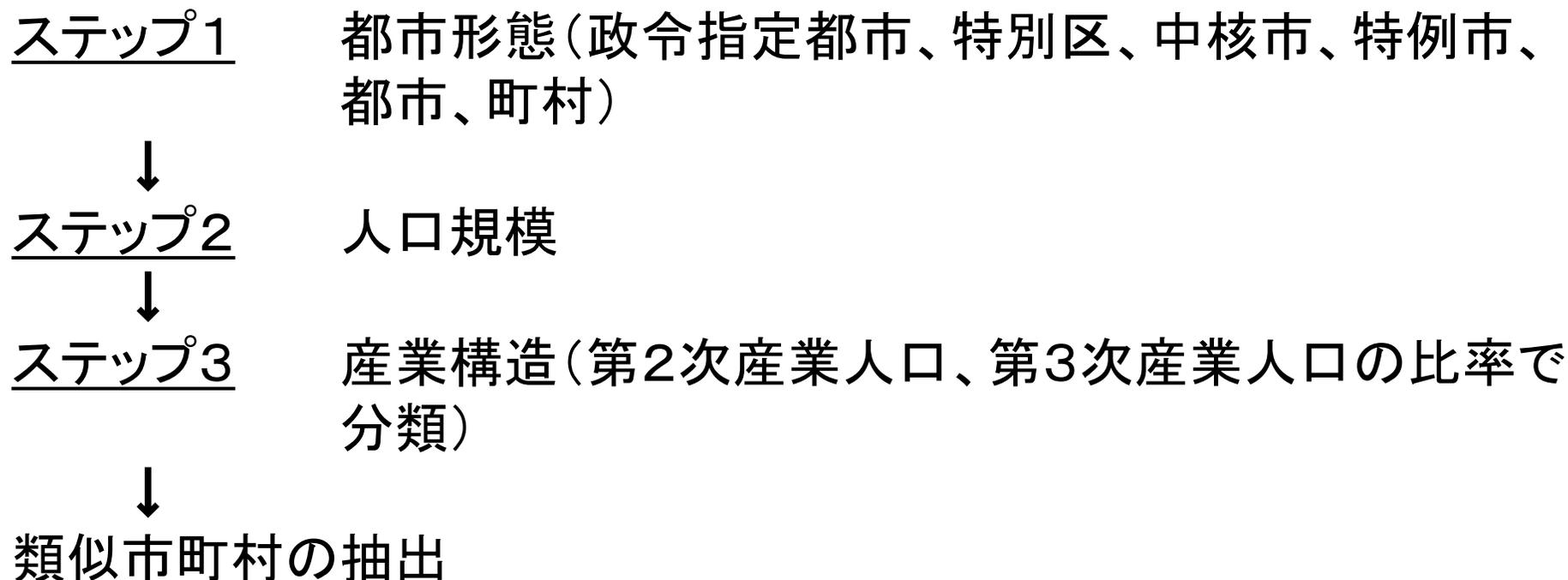
- 当該市町村で設定した目標値を基準値とした比較による評価
- 国の目標値を基準値とした比較による評価
- 全国又は都道府県における平均値や**類似市町村**の平均値を基準値とした比較による評価

※ 一般廃棄物処理システム指針では、できるだけ多くの市町村が本指針を活用して、類似市町村の平均値を基準値とした比較による評価を実施することを推奨しています。

※ 「ごみ処理基本計画策定指針」においても、ごみ処理の評価を行うに当たって、システム指針に基づく評価の導入が必要である旨が示されています。

# 一般廃棄物処理システムの評価の考え方(3)

## ■類似市町村の抽出のステップ

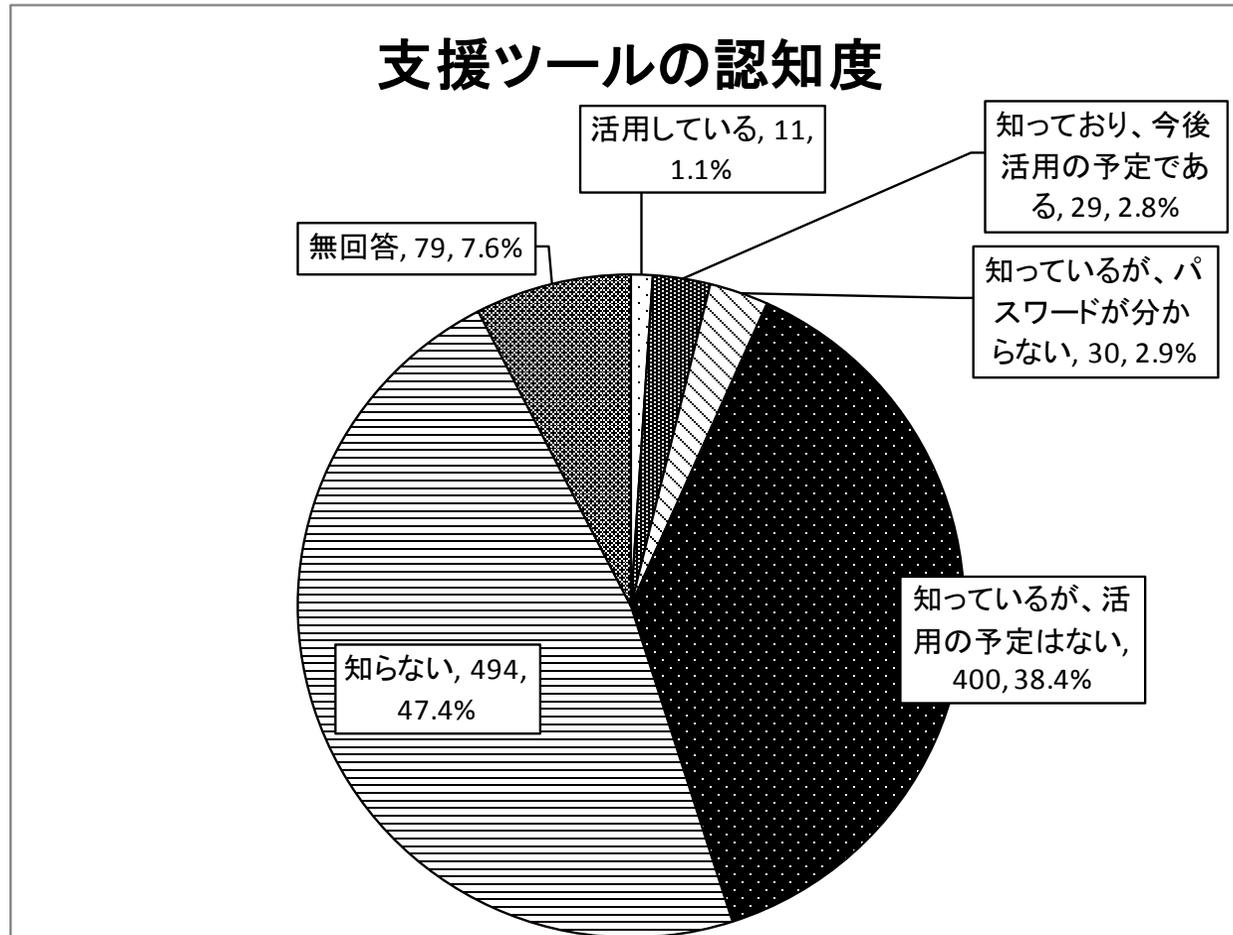


※ 総務省が提示している「類似団体別市町村財政指数表」の類型を用いて類型化

# 一般廃棄物処理システムの評価の考え方(4)

- 環境省では、市町村の担当者が自市町村の一般廃棄物処理システムの評価を簡便に行えるように、そのホームページ上で、「**システム評価支援ツール**」を公表しています。
  - **基本的な作業は、市町村名を入力するだけ！**
    - ※ オプションで、比較対象の拡大や絞り込みといった個別設定を行うこともできます。
  - 出力シートに、**類似市町村が自動的にリストアップ**されます！
  - 自市町村の取組み状況が、**偏差値**で表示されます！

# 「一般廃棄物処理システム評価支援ツール」 を知っていますか？



# システム評価支援ツールの活用方法(1)

下図①～⑤のうち、必要な部分を入力(選択)するだけ!

**入力画面**

白抜き枠が記入欄となります。その他のセルは操作することはできません。

**1. 類似市町村間比較**  
1) 下欄に都道府県名、市町村名を記入して下さい。

都道府県名  市町村名

財政比較分析表の区分に基づく街の構造区分及び類似市町村数が表示されます。 3) レーダーチャートの表示設定を選択してください。

街の概要	
人口	95,486
産業構造	Ⅱ次・Ⅲ次人口比率 99.5
	Ⅲ次人口比率 81.3
都市形態	都市
人口区分	Ⅱ
産業構造	3
街の構造区分 都市Ⅱ3	
類似市町村数	73

表示する	人口一人一日当たりごみ総排出量
表示する	廃棄物からの資源回収率 (RDF除く)
表示できない	参考: 廃棄物からのエネルギー回収量
表示する	廃棄物のうち最終処分される割合
表示できない	参考: 温室効果ガスの人口一人一日当たり排出量
表示できない	参考: (外部供給に伴う回避分を考慮した温室効果ガス排出量)
表示できない	住民満足度
表示する	人口一人当たり年間処理経費
表示できない	資源回収に要する費用
表示できない	エネルギー回収に要する費用
表示する	最終処分減量に要する費用

(当該市町村が「全量把握」もしくは「一部把握」出来ていない場合は、評価できません)  
非公表につき、入力不要です。

①類似市町村数を調整する場合、下の赤枠内に入力  
産業構造: 考慮しない  
人口: 自動設定(国の示す類型) or 手動設定

②産業構造を考慮する  
(2)人口の幅を手動で設定する場合は、下のセルを「②人口は手動設定」にして下さい。また、人口区分を入力して下さい。

①人口は自動設定

人口区分

注意: 下限を設定しない場合は、0を入力して下さい。  
また、上限を設定しない場合は10,000,000を入力して下さい。

街の概要  
街の構造区分  
類似市町村数

産業構造及び人口の幅を変更した場合の類似市町村数が表示されます。

**2. 同一都道府県内又は地方内での比較**  
1) 同一都道府県内で比較を行いたい場合は、下のセルを「②都道府県内で比較を実施する。」に、同一地方内で比較を行いたい場合は下の数を実施する。」にして下さい。また、地方の場合は属している地方名を選択して下さい。なお、本比較を行う場合は、1. 2)の産業構造において下さい。

①比較を行わない。 地方の場合

2) 都市形態を考慮する場合は、以下のセルを「②都市形態を考慮する。」にして下さい。  
②「都市形態を考慮する。」を選択すると当該市町村と同じ都市形態が自動的に選択されます。

①都市形態を考慮しない 都市形態

①都道府県、市町村名を入力(リストから選択)

④レーダーチャートに表示する指標を選択  
(現状評価できないものは、“表示できない”に固定されています)

⑤エネルギー回収量、温室効果ガス排出量に関するデータの比較対象を選択  
(全量把握している自治体のみを比較対象とするか、一部把握している自治体も比較対象とするか)

③同一都道府県又は地方内で比較する場合は、下の赤枠内に条件を入力  
比較対象: 同一都道府県or地方内  
都市形態: 考慮する(同じ都市形態のみで比較) or しない(都市形態を問わずに比較)

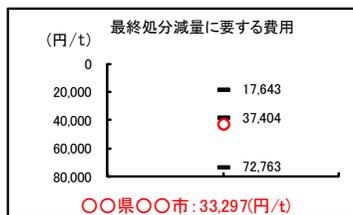
# システム評価支援ツールの活用方法(2)

## 標準的な指標1 (偏差値によるレーダーチャート)

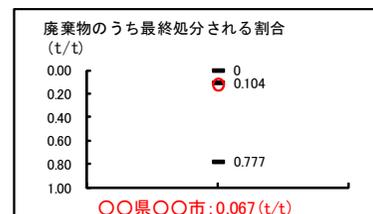
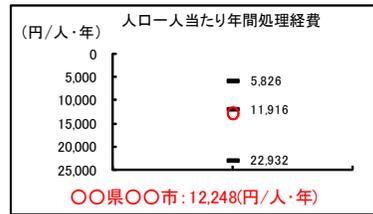
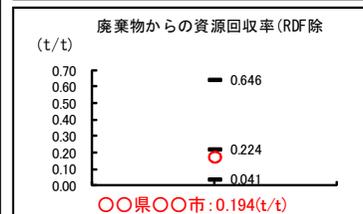
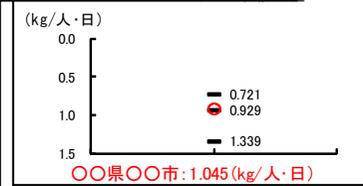
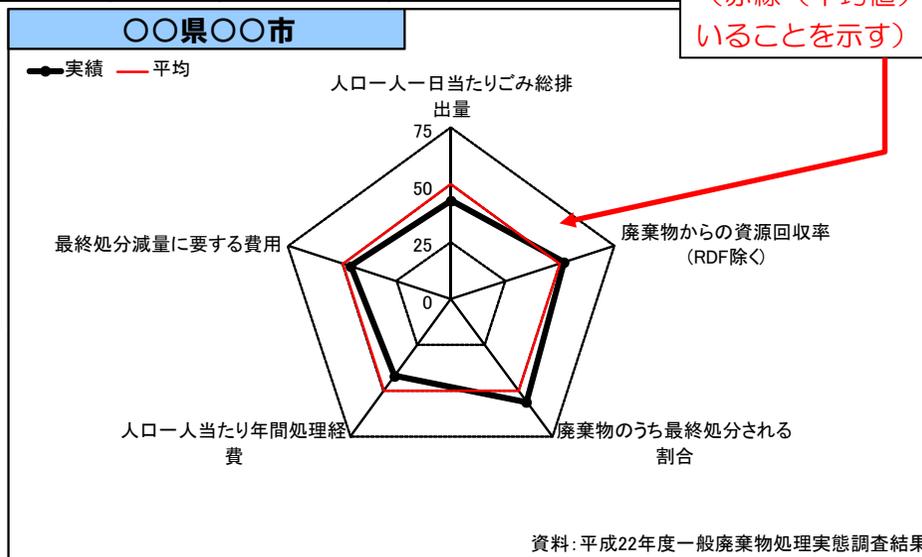
市町村名	〇〇県〇〇市	人口	95,486 人			
		産業	Ⅱ次・Ⅲ次人口比率	99.5%	Ⅲ次人口比率	81.3%

類型都市の概要	都市形態	都市			
	人口区分	Ⅱ	50,000人以上~100,000人		
	産業構造	3	Ⅱ次・Ⅲ次人口比95%以上、Ⅲ次人口比80%以上		

偏差値によるレーダーチャート表示  
(赤線(平均値)を上回る方が、優れていることを示す)



ポジショニンググラフ: ○印が当該市町村の実績。黒字の数值は、最大、最小、平均値を示す。(○印が上にあるほど優れていることを示す)



備考: エネルギー回収量及び温室効果ガスについては、データの把握状況が市町村によって異なるため、参考値として取扱って下さい。また、民間施設への委託分も指標には反映されていないことにご注意ください。

# システム評価支援ツールの活用方法(3)

## 【大きい方が良好な指標】

- 廃棄物からの資源回収率
- (廃棄物からのエネルギー回収量)
- (住民満足度)

【資源回収率が高い＝優秀】

【エネルギー回収量が多い＝優秀】

【住民満足度が高い＝優秀】

## 【小さい方が良好な指標】

- 人口一人一日当たりごみ総排出量
- 廃棄物のうち最終処分される割合
- (廃棄物処理に伴う温室効果ガスの人口一人一日当たり排出量)
- 人口一人当たり年間処理経費
- 最終処分減量に要する費用
- (資源回収に要する費用)
- (エネルギー回収に要する費用)

【排出量が少ない＝優秀】

【最終処分割合が低い＝優秀】

【排出量が少ない＝優秀】

【費用が安い＝優秀】

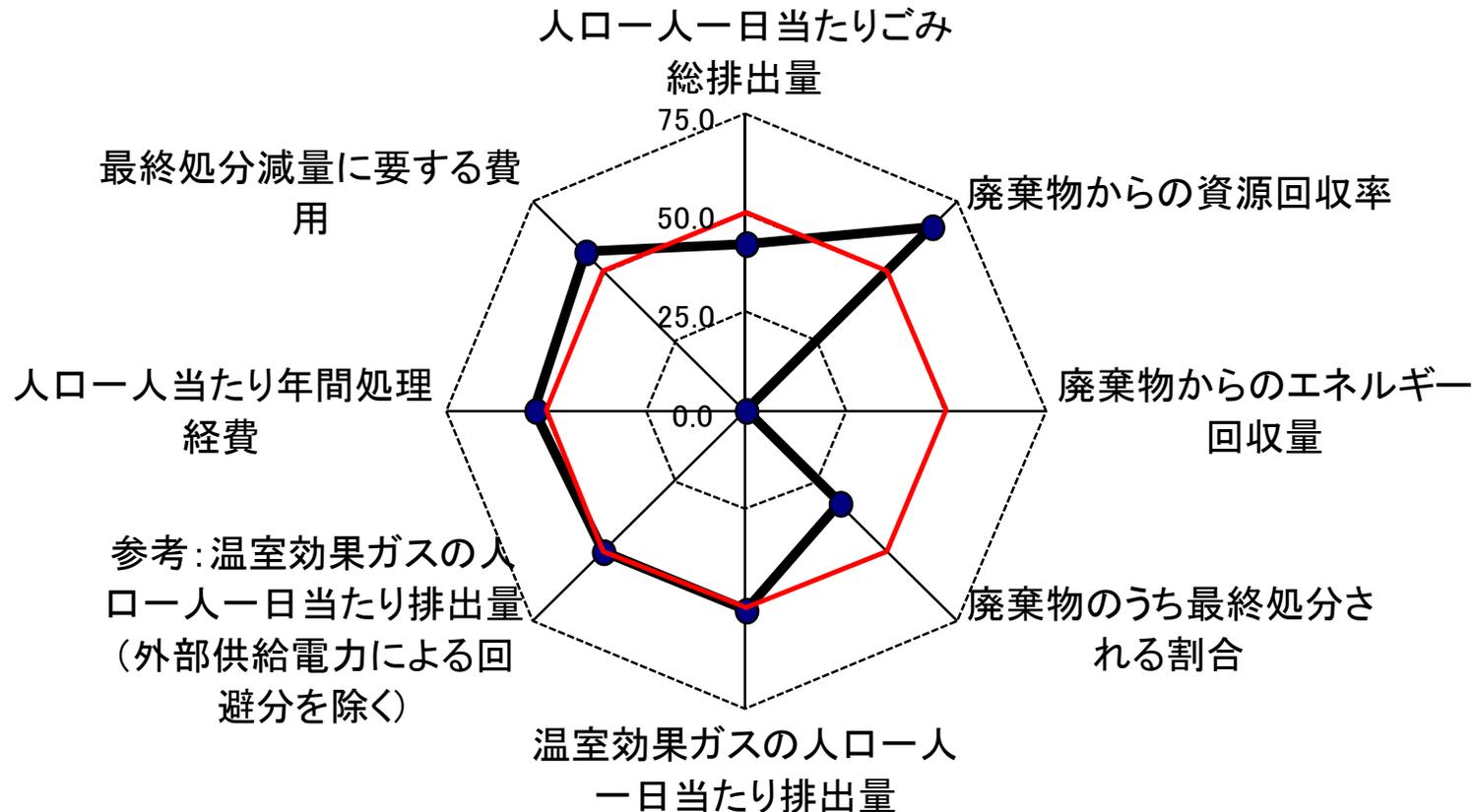
【費用が安い＝優秀】

【費用が安い＝優秀】

【費用が安い＝優秀】

※ ( )内の指標は現状のシステム評価支援ツールでは表示されません。その他の指標は環境省「一般廃棄物処理実態調査」の調査結果に基づき算出しています。

# システム評価支援ツールの活用方法(4)



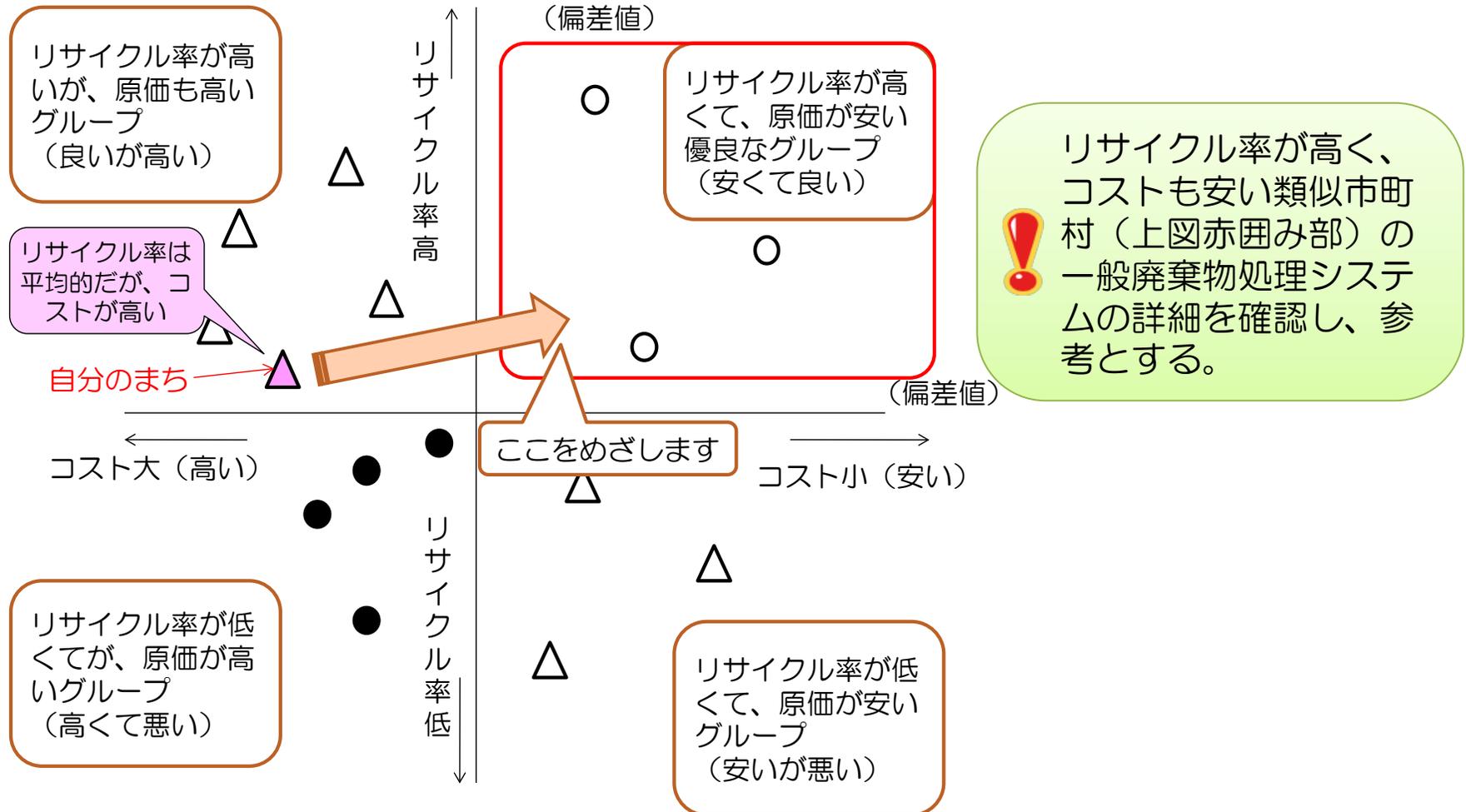
## 【標準的な指標の分析】



資源回収の取組みは優秀だけれども、ごみの排出量が多く、最終処分される割合も高いため、ごみ処理の有料化を行うべきではないだろうか。

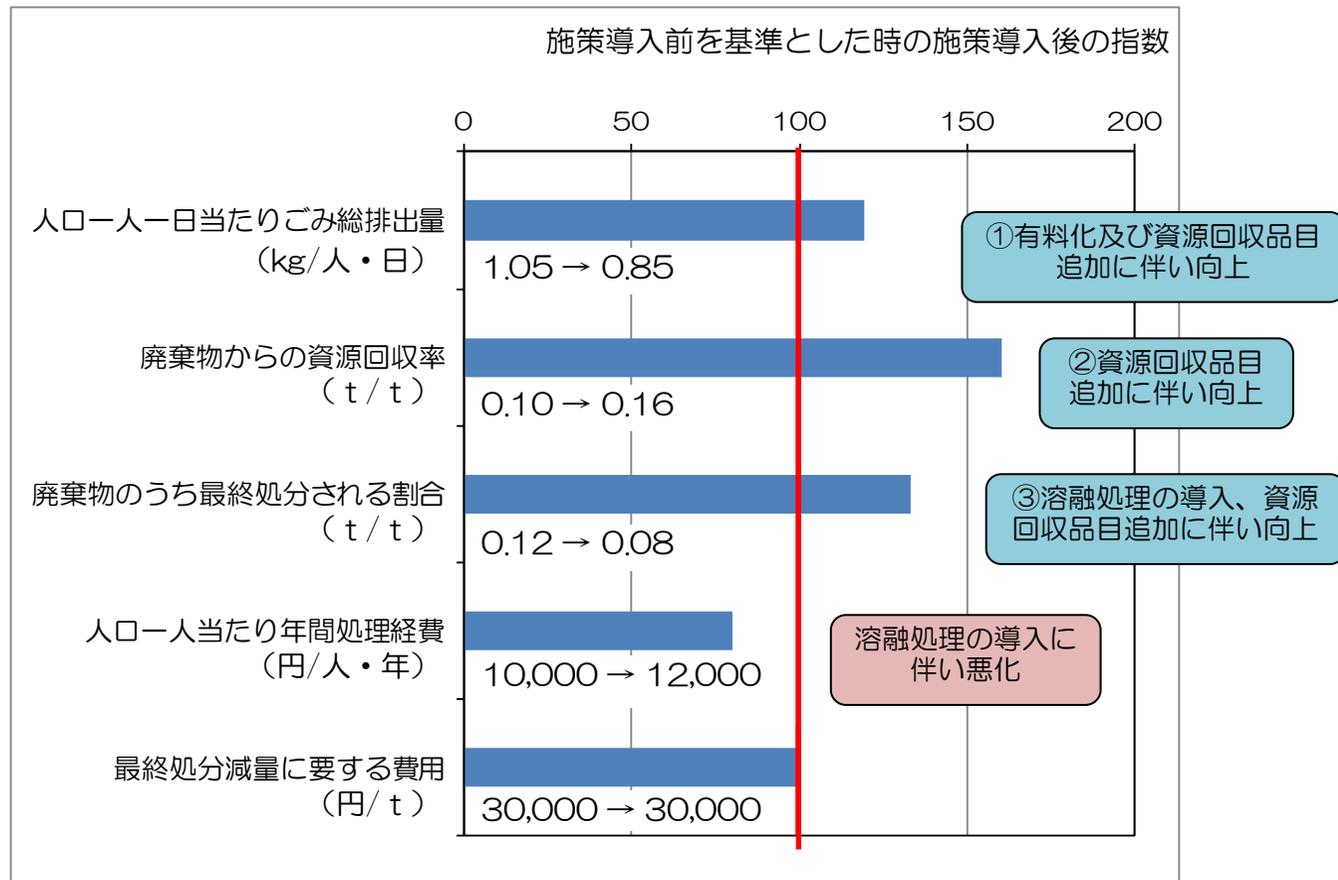
# システム評価支援ツールの活用方法(5)

## ■ 類似市町村と比較の一例



# システム評価支援ツールの活用方法(6)

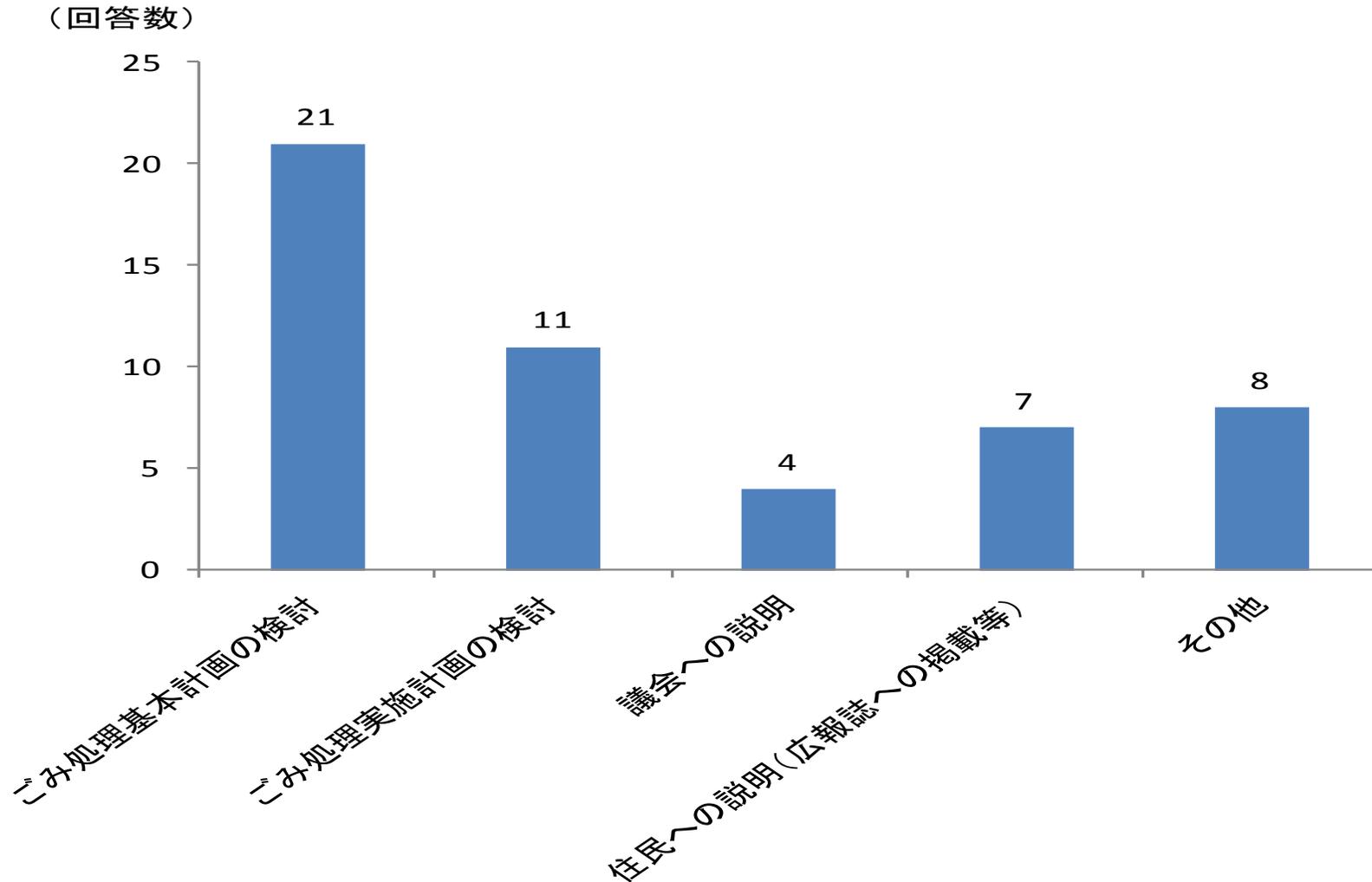
## ■ 施策導入の効果検証の一例



施策導入に伴い悪化

施策導入に伴い向上

# システム評価支援ツールの活用場面(1)



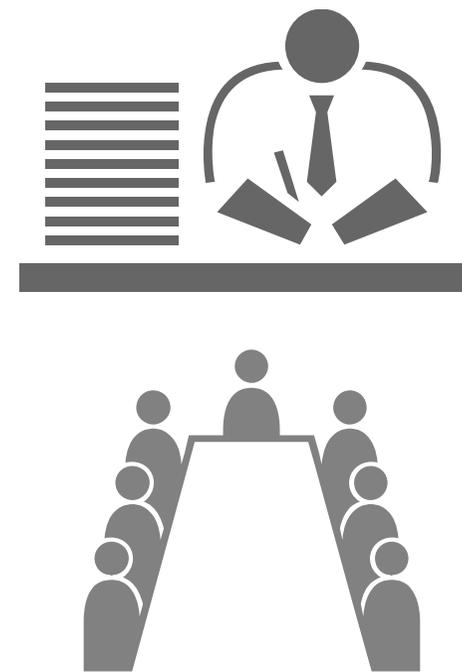
## システム評価支援ツールの活用場面(2)

### <市町村内部での廃棄物処理システムの検討>

- システム評価支援ツールによる各指標の分析を通じて、自市町村の廃棄物処理システムの弱点を正確に把握することができます。
- また自市町村の廃棄物処理システムを検討する上で、参考となる類似市町村を抽出することができます。
- このため、弱点の改善を図るための取組みを具体的、効率的に検討することができます。

#### 【活用例】

- 各指標の分析結果を踏まえ、自市町村の廃棄物処理の新たな取組みの方向性を検討する。
  - ごみ量が多い→有料化の導入
  - 資源化率が低い→ごみの分別品目の拡大 等
- 指標の偏差値が優れている類似市町村の取組みを参考に、新たな廃棄物処理計画を検討する。



# システム評価支援ツールの活用場面(3)

## ＜ステークホルダー(地域住民等)への説明＞

- 地域住民等に対して、自市町村の一般廃棄物処理に関する取組や今後の方向性を説明する際、システム評価支援ツールによる視覚的にわかりやすい図表や類似市町村との比較データを活用することで、市町村としての説明責任を十分に果たすことができます。

### 【活用例】

- 市町村の広報誌等においてシステム評価支援ツールによる住民一人当たりのごみ処理費用等のデータを類似市町村等と比較する形で公表することで、自市町村の一般廃棄物処理の状況について、地域住民に正確に理解してもらう。
- 廃棄物処理施設の整備等に関する住民説明会を開催する際に、事業実施の必要性や事業実施により期待される効果を説明する際の根拠として活用する。

